

# 馬琴と国芳・国貞 八犬伝と弓張月

会期 2017年6月2日(金)～25日(日)

	絵師名	作品名	所蔵	年代	
1F	歌川国芳	八犬伝之内芳流閣	個人蔵	天保11年(1840)	
	歌川国芳	本朝水滸伝豪傑八百人一個 里見八犬子の内 犬塚信乃戌孝 犬飼現八信道	個人蔵	天保2年(1831)	
	歌川国貞	犬塚信乃 犬飼現八	個人蔵	嘉永5年(1852)	
	柳斎重春	里見家八犬士之一人 犬塚信乃戌孝 犬飼現八信道	個人蔵	天保5年(1834)	
	月岡芳年	芳流閣両雄動	太田記念美術館蔵	明治20年(1887)	
	曲亭馬琴作・柳川重信ほか画	南総里見八犬伝	個人蔵	文化11～天保13年(1814～42)	
	歌川国芳	本朝水滸伝剛勇八百人一個 犬山道節忠與	個人蔵	天保7年(1836)頃	
	歌川国芳	本朝水滸伝剛勇八百人一個 犬江親兵衛仁	個人蔵	天保7年(1836)頃	
	歌川国芳	本朝水滸伝豪傑八百人一個 里見八犬子の内 犬坂毛野胤智	個人蔵	天保2年(1831)頃	
	歌川国芳	本朝水滸伝剛勇八百人一個 犬村大学礼儀	個人蔵	天保4～6年(1833～35)頃	
	歌川国芳	曲亭翁精著八犬伝随一 犬川莊介義任 犬山道節忠與	個人蔵	天保7～9年(1836～38)頃	
	歌川国芳	曲亭翁精著八犬士随一 犬村大角礼儀	個人蔵	天保7～9年(1836～38)頃	
	歌川国芳	本朝剣道略伝 犬江親兵衛	個人蔵	天保15～弘化3年(1844～46)	
	歌川国芳	義勇八犬伝 犬江親兵衛	個人蔵	嘉永元～2年(1848～49)	
	歌川国芳	義勇八犬伝 犬坂毛乃	個人蔵	嘉永元～2年(1848～49)	
	歌川国芳	義勇八犬伝 犬田小文吾悌順	個人蔵	嘉永元～2年(1848～49)	
	歌川国芳	里見八犬伝 犬田小文吾悌順 犬坂毛野胤智	個人蔵	嘉永2～3年(1849～50)	
	柳斎重春	里見家八犬士之一人 犬川壯助義任 犬山道節忠與	個人蔵	天保5年(1834)	
	一樹園貞升	円山塚 犬山道節	個人蔵	天保7年(1836)	
	春梅齋北英	舞子朝けの実八犬坂毛野 中村富十郎／犬田小文吾 二代目関三十郎	個人蔵	天保7年(1836)	
	歌川国貞	犬飼見八 市川海老蔵／犬塚信乃 尾上菊五郎／浜路 市村羽左衛門	個人蔵	天保7年(1836)頃	
	歌川国貞	犬飼見八 市川九蔵／犬塚信乃 市川海老蔵／浜路 岩井半四郎	個人蔵	天保7年(1836)	
	歌川国貞	俳優水滸伝豪傑一百八人之一個 犬塚信乃二扮スル図 市川九蔵／犬飼現八二扮スル図 嵐吉三郎	個人蔵	天保7年(1836)頃	
	歌川国貞	犬坂毛野 岩井杜若	個人蔵	天保9年(1838)	
	歌川国貞	犬塚信乃 市川海老蔵／犬飼現八 市川九蔵	個人蔵	天保7年(1836)	
	歌川国貞	犬塚信乃 沢村訥升／犬飼現八 市村羽左衛門	個人蔵	天保9年(1838)	
	歌川国貞	里見八犬士之一個	個人蔵	弘化4～嘉永3年(1847～50)	
	2F	歌川国芳	犬川莊介義任 道節妹はまち 犬山道節忠知 網干左母次郎	個人蔵	嘉永5年(1852)
		歌川国貞	犬山道節 犬川莊助	個人蔵	嘉永5年(1852)
		歌川国芳	犬山道節 犬川莊助	個人蔵	嘉永5年(1852)
歌川国芳		犬塚信の戌孝 犬飼現八信道	個人蔵	嘉永5年(1852)	
歌川国貞		放龍閣之場 犬飼現八 犬塚信乃	個人蔵	嘉永5年(1852)	
歌川国貞		犬飼現八 犬塚信乃	個人蔵	嘉永5年(1852)	
歌川国貞		犬飼現八 犬塚信乃	個人蔵	安政4年(1857)	
歌川国芳		里見八犬伝一覽	個人蔵	嘉永2～5年(1849～52)	
菊川英山		譬草風俗合 京嶋原 角屋内 松人	個人蔵	文化9～10年(1812～13)	
溪斎英泉		当世好物八契 戯作	個人蔵	文政6年(1823)	
柳斎重春		里見家八犬士之一人 犬坂毛野為智	個人蔵	天保5年(1834)	
春梅齋北英		けいせい玉梓 中山菊枝／金鞠大輔 嵐璃寛／ふせひめ 中村富十郎／杉倉木曾介氏元 関三十郎	個人蔵	天保7年(1836)	
歌川国芳		犬坂毛野 せんとふ権九郎 狸のせいれい妙ちん 犬江親兵衛仁 犬山道節忠與	個人蔵	嘉永2～3年(1849～50)	
歌川国芳		木曾街道六十九次之内 三 蔵 犬山道節	個人蔵	嘉永5年(1852)	

歌川国貞	対牛楼	個人蔵	嘉永5年(1852)
豊原国周	里見八犬士之内 犬坂毛野	個人蔵	慶応元年(1865)
歌川国貞	八犬士英名鑑 赤岩一角ノ変身 犬村大角礼度 犬飼現八信道	個人蔵	安政元年(1854)
歌川芳虎	庚申山の場 赤岩一角に化けた怪猫と犬飼現八	個人蔵	嘉永2~3年(1849~50)
二代歌川国貞	八犬伝犬の草紙の内 里見息女伏姫	個人蔵	嘉永5年(1852)
二代歌川国貞	八犬伝犬の草紙の内 尼妙椿	個人蔵	嘉永5年(1852)
歌川芳虎	八犬伝かるた	個人蔵	嘉永5年(1852)
二代歌川国貞	八犬伝狗之草紙	個人蔵	嘉永5年(1852)
笠亭仙果作・歌川国貞画	犬の草紙	個人蔵	弘化5~明治14年(1848~81)頃
二代為永春水 ほか作・歌川 国芳・歌川芳 幾画	仮名読八犬伝	個人蔵	弘化5~慶応4年(1848~68)頃
勝川春亭	鎮西八郎為朝石山の奥の浴場にて奮戦	個人蔵	文化8~9年(1811~12)頃
勝川春亭	鎮西八郎為朝於八丈嶋弓勢之図	個人蔵	文化末~文政初(1812~20)頃
曲亭馬琴作・葛飾北斎画	椿説弓張月	個人蔵	文化4~8年(1807~11)
卍楼北鷺	椿説弓張月 山雄主のために蟒蛇を嚙で山中に軀を止む	個人蔵	天保11年(1840)
歌川国芳	鎮西八郎為朝	個人蔵	天保9~12年(1838~41)頃
歌川国芳	為朝と鬼夜叉	個人蔵	嘉永2年(1849)
歌川国芳	為朝弓勢之図	太田記念美術館蔵	嘉永4~5年(1851~52)
歌川国芳	肥後国水俣の海上にて為朝難風に遇ふ	個人蔵	天保(1830~44)
歌川国芳	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	個人蔵	嘉永4年(1851)
歌川国貞	石山温泉場御曹子為朝討手兵悩図	個人蔵	安政元年(1854)
歌川国貞	八ツ代 八郎為朝 鬼夜叉	個人蔵	安政元年(1854)
歌川国貞	豊国揮毫奇術競 蒙雲国師	個人蔵	文久3年(1863)
歌川芳雪	猪を倒す鎮西八郎為朝	個人蔵	弘化元~3年(1844~46)
歌川芳艶	為朝誉十傑 鎮西八郎 四頭九郎	個人蔵	安政5年(1858)
歌川芳艶	為朝誉十傑 白縫姫 崇徳院	個人蔵	安政5年(1858)
歌川貞秀	為朝弓勢之図	個人蔵	嘉永2~5年(1849~52)
歌川国芳	為朝誉十傑 二	個人蔵	弘化4~嘉永元年(1847~48)
歌川国芳	女護嶋にて歓待を受ける為朝	個人蔵	嘉永2~5年(1849~52)
歌川芳幾	今様擬源氏 三十一 鎮西八郎為朝	個人蔵	元治元年(1864)
歌川貞虎	大嶋都方軍船破図	個人蔵	天保(1830~44)
遠浪斎重光	保元のみたれに源御曹子八郎為朝伊豆の大嶋におひて数万騎を乗せたるたいせんをひと矢にて射かへしたもふ図	個人蔵	嘉永(1848~54)頃
歌川国福	為朝琉球国大鷲討図	個人蔵	文久2年(1862)
春梅斎北英	鎮西八郎為朝 嵐璃寛ノ嚙王女 岩井紫若	個人蔵	天保4年(1833)頃
月岡芳年	一魁随筆 犬塚信乃 犬飼見八	個人蔵	明治6年(1873)
曲亭馬琴作・月岡芳年画	椿説弓張月	個人蔵	明治16年(1883)
小林清親	日本外史之内 鎮西八郎源為朝	個人蔵	明治17年(1884)
歌川国年	為朝強弓之図	個人蔵	明治16年(1883)
歌川国芳	鎮西八郎為朝伊豆の大嶋にて討手の兵船を射るの図	個人蔵	弘化元~3年(1844~46)
望斎秀月	弓張月之内 白縫姫の侍女と戦う鎮西八郎為朝	個人蔵	明治18年(1885)
豊原国周	里見八犬伝 東錦俳優競	個人蔵	明治18年(1885)
河鍋暁斎	新板七福神八犬伝之図	個人蔵	明治18年(1885)
楊洲周延	馬琴著述 椿説弓張月 白峯の神霊 しらぬひ姫	個人蔵	明治25年(1892)
楊洲周延	馬琴著作当双六	個人蔵	明治23年(1890)

